

BTMU

CHINA WEEKLY

EXPERT VIEW:【日系企業のための中国法令・政策の動き】

今回は2010年11月上旬から中旬にかけて公布された法令をとりあげました。一部それ以前に公布され、公表が遅れたものを含んでいます。

【規則】

○「工業情報化部、衛生部、国家食品薬品监督管理局の医薬業の構造調整加速に関する指導意見」(工信部聯消費[2010]483号、2010年10月9日発布・実施)

○「国家税務総局の企業財産譲渡等所得の企業所得税処理問題に関する公告」(2010年第19号、2010年10月27日公布、同年11月27日実施)

○「国家発展改革委員会、国土資源部、環境保護部の鉄鋼プロジェクトの整理に関する通知」(発改産業[2010]2600号、2010年10月29日発布・実施)

○「税関総署の『税関の加工貿易貨物に対する監督管理弁法』改正に関する決定(二)」(税関総署令第195号、2010年11月1日公布、同年12月5日施行)

○「住宅・都市農村建設部、国家外貨管理局の国外機構・個人の建物購入管理の規範化に関する通知」(建房[2010]186号、2010年11月4日発布・実施)

医薬業の構造調整の目標は、①製品構造調整(基本薬物生産企業上位20社の市場シェアを80%以上に引き上げ、化学薬物分野での10以上の知的財産権所有薬物の産業化を実現など)、②技術構造調整(化学薬物分野での原料薬新技術普及など)、③組織構造調整(地域・所有制を越えた合併・買収の奨励など)、④地域構造調整(長江デルタ、珠江デルタ、環渤海の総合医薬品生産基地の育成など)、⑤輸出構造調整(ジェネリック製剤の米欧・日本への輸出拡大など)。

「企業所得税法实施条例」第25条の関連規定。企業の財産(各種資産、出資持分、債権等)の譲渡収入、債務組換え収入、寄付受取収入、返還不能な支払金収入等は、全て収入が確定した年度に一括計上するとしている。本公告前に5年間の均等計上を行っている場合、未計上分を今年度の収入に一括計上する。

今年6月の国务院通知(国弁発[2010]34号、内容は本誌6月23日号の解説をご参照)に基づき、鉄鋼プロジェクトに対する整理作業の報告を地方に指示したもの。整理の内容は、生産能力、認可、土地使用、省エネルギー・環境保護の各状況で、今年12月末までに国家発展改革委員会等に報告し、これに基づいて各プロジェクトの処理を決定するとしている。

2008年3月1日付に続く2回目の改正。主な改正点は、①外注加工について、i)税関管轄区域を越えて行う場合、ii)全工程を外注する場合、iii)外注加工後の貨物を回収せず直接輸出する場合、iv)委託企業または受託企業が密輸、規則違反の疑いで税関の調査を受け、事案が結審していない場合、には税関に外注加工貨物に対する税額相当の保証金または銀行保証状を差し入れるとしたこと、②保税材料と非保税材料の交換に加えて、保税材料間の交換も可能としたこと。

国外機構と個人の建物購入に対する管理強化の通知。2006年の建設部(当時)等の通知(建住房[2010]171号)に基づくもの。①個人は自己の居住用の住宅のみ購入でき、売買契約登記と不動産権利登記の際に、国内での1年超の業務歴証明書と他に住宅がないことについての承諾書を提出する、②機構は国内に事務所または支店を設立している場合に、その登録都市での事務に必要な建物のみ購入でき、事務所・支店の認可文書と登録証明書及び事務に必要なであることを承諾書を提出する、など。

(本シリーズは、原則として隔週で掲載しています。)

CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

◆**10月の主要経済指標**: 国家統計局は11日、10月の主要経済指標を発表した。消費者物価指数(CPI)が前年同月比+4.4%(前月比+0.8ポイント)、工業品出荷価格指数(PPI)が同+5.0%(同+0.7ポイント)と大幅に上昇。統計局は記者会見で、CPI上昇の主因は食品価格の高騰にあり、海外の農産物、大口商品価格や、原油などの原材料価格の値上がり、10月の海南島での洪水等自然災害の多発をその理由として挙げた。また、今年のCPIの目標達成については、国外の通貨緩和政策がもたらす影響を懸念し、更なる努力をもって経済構造調整やインフレ期待管理を行う必要があるとしている。社会消費財小売総額が前年同月比+18.6%となったものの、前月比では▲0.2ポイントと減少した点については、中秋節が今年は9月であったのに対し、昨年は10月であったこと等、基数となる昨年の数値の高さによるもので、消費自体は安定的且つやや速い伸びを示しており、国民の消費能力は高まっているとした。

【産業】

◆**10月70大都市不動産販売価格 前年同月比8.6%上昇**: 国家統計局の発表によると、10月の不動産販売価格は前年同月比+8.6%で、上昇幅は前月比0.5ポイント縮小したものの、2ヶ月連続での上昇となった。新築住宅販売価格は前年同月比+10.6%で上昇幅は前月比0.7ポイントの下落。種類別で見ると、商品住宅価格は前年同月比+11.9%で、うち一般住宅が同+11.0%、高級住宅が同+14.8%となり、低所得者層向け分譲住宅は同+0.9%となった。なお、中古住宅販売価格は同+5.9%で上昇幅は前月比0.3ポイント下落した。

◆**10月自動車生産・販売台数 前年比増加、前月比では減少**: 中国自動車工業協会が9日発表したデータによると、10月の自動車生産台数は前年同月比+22.5%の154.1万台、販売台数は同+25.5%の153.9万台となったが、前月比ではそれぞれ▲3.3%、▲1.2%と減少した。車種別では、乗用車の生産が119.8万台(前年同月比+23.5%、前月比▲2.6%)、販売が120.3万台(同+27.1%、▲0.7%)で、商用車の生産が34.3万台(前年同月比+19.2%、前月比▲5.5%)、販売が33.6万台(同+19.9%、▲2.9%)となっている。低燃費小型車補助金と年末迄の車両購入税優遇策に後押しされた1,600cc以下の小型乗用車が引続きシェアを伸ばし、乗用車販売全体の69.9%を占めた。なお、1-10月の自動車生産台数は1,462.4万台(前年同月比+34.5%)、販売台数は1,467.7万台(同+34.8%)となっている。

【金融・為替】

◆**外管局 ホットマネー流入の規制強化**: 国家外貨管理局は9日、銀行に対する「外貨業務管理を強化する問題の通知」(匯発[2010]59号)(※)を発表し、即日実施した。米国の追加金融緩和を受け、大量の投機資金の中国への流入に対する警戒感が強まるなか、今回の通知は、違法に流入した外貨資金の人民元転を規制することを目的としている。通知は7項目から成り、輸出受取り外貨と輸出貨物通関との照合管理、資本金払込みの管理、海外上場企業の募集資金の回金・人民元転の審査等について強化するもので、管理違反をした銀行に対しては厳しく処罰するとしている。

※【通知の日本語訳】→「[外貨業務管理を強化する問題の通知](#)」(匯発[2010]59号)

◆**10月の人民元新規貸出増加額前月比横ばい**: 人民銀行の11日の発表によると、10月の人民元新規貸出は5,877億元で、9月並みの水準5,955億元にとどまったものの、前年同月比では3,347億元増加した。なお、10月末の人民元預金残高は同+19.8%の70兆2,800億元、マネーサプライ(M2)は同+19.3%の69兆9,800億元。

<10月の主要経済指標>

項 目	金 額		前年比(%)
固定資産投資(都市部)*	(億元)	187,556	24.4
第一次産業	(億元)	3,126	17.2
第二次産業	(億元)	78,695	22.3
第三次産業	(億元)	105,734	26.4
工業生産(付加価値ベース)**	-	-	13.1
社会消費財小売総額	(億元)	14,285	18.6
消費者物価上昇率(CPI)	-	-	4.4
工業品出荷価格(PP)	-	-	5.0
原材料・燃料・動力購入価格	-	-	8.1
輸出	(億ドル)	1,359.8	22.9
輸入	(億ドル)	1,088.3	25.3
貿易収支	(億ドル)	271.5	-
対内直接投資(実行ベース)	(億ドル)	76.6	7.9

*:1-10月の累計ベース。

**:独立会計の国有企業と年間販売額500万元以上の非国有企業を対象。

(出所:国家統計局等の公表データ)

人民元の動き

日付	USD				JPY (100JPY)		HKD	EUR		金利 (1wk)	上海A株 指数		
	Open	Range	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比		前日比	
2010.11.08	6.6640	6.6638~6.6852	6.6781	0.0215	8.2400	-0.0073	0.8619	0.0034	9.3248	-0.1024	1.6800	3309.76	31.31
2010.11.09	6.6550	6.6420~6.6912	6.6440	-0.0341	8.2172	-0.0228	0.8574	-0.0044	9.2071	-0.1177	1.6400	3283.81	-25.95
2010.11.10	6.6405	6.6325~6.6450	6.6337	-0.0103	8.1139	-0.1033	0.8559	-0.0016	9.1613	-0.0458	1.6300	3263.06	-20.75
2010.11.11	6.6187	6.6173~6.6380	6.6257	-0.0080	8.0634	-0.0505	0.8545	-0.0013	9.0930	-0.0683	1.7300	3297.16	34.10
2010.11.12	6.6288	6.6258~6.6555	6.6370	0.0113	8.1003	0.0369	0.8565	0.0020	9.0700	-0.0230	1.7000	3127.32	-169.84

RMB レビュー&アウトLOOK

先週の人民元相場は6.6640で寄り付いた。9日に週間安値となる6.6912まで下落したが、G20(20ヶ国・地域首脳会議)が開催された11日には、2005年7月以来の最高値を更新する6.6173まで上昇、その後はやや小反落して結局6.6370で越週した。先週は、11日に発表された10月消費者物価指数上昇率が、前年比でみてプラス4.4%と前月の同3.6%から更に昂進するなど、インフレ懸念が高まっている。こうした中、9日には国家外為管理局(SAFE)が投機資金の流入抑制を目的とした外貨管理強化策を、また10日には中国人民銀行が、今年4回目となる預金準備率の引き上げをそれぞれ発表するなど、資本流入による資産インフレや一般物価上昇への警戒を強めていることが伺える。10月の貿易収支では黒字幅が約271億ドル(前月は同169億ドル)にまで拡大しており、国際的な人民元の柔軟性強化を求める声は強まるだろう。G20などの国際的な政治日程を終え、一旦は上昇が鈍化する可能性もあるが、インフレ圧力抑制のため、中国自身もある程度の人民元高を受け入れざるを得ないと思われ、人民元相場は引き続き緩やかに上昇するとみられる。(11月15日作成)

(市場営業部 為替営業推進グループ グローバル営業ライン)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。